

2025 年 5 月 20 日

大阪市教育局 教育長 多田 勝哉 様



夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>

〒536-0008 大阪市城東区関目 6-4-2-103

山川よしやす(事務局長)電話

万博遠足に行きたくない児童・生徒の学習権の保障にかかわる請願書

<請願趣旨>

私たちは、一貫して現役の廃棄物最終処分場・夢洲での万博開催の危険性を訴え、本年 5 月 1 日には、万博協会、大阪市消防局、大阪広域環境施設組合に要請書を提出しました。万博協会への要請事項は以下の内容です。

「GWエリアでの万博営業の中止と第1ターミナルと第2ターミナルを廃止するために、直ちに関係する機関や店舗等と協議に入ること」・「GWエリアでの裸火(プロパンガスやガスバーナーなど)の使用を直ちに禁止すること」・「店舗やパビリオン施設の室内、すべての地下ピットに自動ガス検知システムを設置し、すぐに公表や避難指示が出せるようにすること」・「ガス抜き管に『有毒ガス排出中』『危険近寄るな!』の表示をおこなうこと」・「全会場での禁煙を徹底すること」・「HP やアプリの『ガス安全確認状況』をワンクリックで見られるようにし、東西ゲート前でも表示すること」・「すべてのガス抜き管の、メタンガス、一酸化炭素、硫化水素、二酸化炭素、アンモニアを計測し、数値を公表すること」・「現在 HP やアプリでは『安全にご来場いただけます』だけの表示だが、検知した時間、場所、一酸化炭素を含むすべてのガスの濃度(基準値以下であっても)を表示すること」・「診療所等の案内掲示板を誰にでも分かりやすくする、すべての医療施設の対応時間を閉場時間に合わせる、医療施設とスタッフを増員するなど、医療体制の強化を図ること」

学校行事としての万博遠足については、このような危険性に加えて、行きかえりの過程での問題、熱中症の問題、雷や地震等緊急時の問題、パビリオンや昼食の場所・時間が万博協会から一方的に指定される問題、下見が十分保証されない問題等、本当に安全に実施されるのか、疑問が膨らむばかりといった状況です。実際、児童・生徒を万博遠足に引率した教職員から「教育目標を考えるなどは論外、とにかく事故なく終わることだけが目標、終わってほっとした」といった感想が出る状況であり、貴教育委員会が進めるとしていた「万博の理念や SDGs の学習」が絵空事であったことはすでに明らかです。

そのような中で、万博遠足に行きたくないとする児童・生徒や保護者が出るのは必然であり、私たちの会にもその声が届いています。

万博遠足に行きたくないとする児童・生徒、行かせたくないとする保護者に対して、学習権を保障する観点で、しっかり要望を聞き取り対応することは、公立学校として当然のことです。ところが、実施に当たって、(児童・生徒、保護者から見たとき)「学校が勝手に決めた」万博遠足に参加するのが当然で、行きたくないという児童・生徒や保護者がいるということを想定さえしない進め方をしている学校もあると聞いています。

そのような現状に鑑み、以下を貴教育委員会に要請します。

<請願事項>

1. 万博遠足に行きたくないという児童・生徒や保護者の声を聴いているかどうか、その声にどう対応しているか、実態調査を行うこと
2. 万博遠足に行きたくないという児童・生徒や保護者に対しては、学習権の保障という観点で学校として対応する必要があるという見解を表明すること

以上、請願について5月30日までに文書で回答することを求めます。